

平成 29 年度

一般社団法人 奈良県作業療法士会

定時社員総会 社員総会参考書類



期日 平成 29 年 6 月 11 日 (日) 15 : 00 ~

会場 橿原市立かしはら万葉ホール 5階 レセプションホール

奈良県橿原市小房町 11 番 5 号

総会次第

1. 開会の挨拶
2. 議長選出
3. 総会議事録署名人 選出
4. 第一号議案 平成 28 年度 事業報告
5. 第二号議案 平成 28 年度 収支報告
6. 第一号、第二号議案に関する質疑応答並びに採決
7. 第三号議案 平成 29 年度 事業計画
8. 第四号議案 平成 29 年度 予算計画
9. 第三号、第四号議案に関する質疑応答並びに採決
10. 閉会の挨拶

平成 29 年度 入会者数 名

総会参加者数 名

委任状総数 枚

() %

御挨拶

一般社団法人 奈良県作業療法士会
会長 大松 慶子

会員の皆様、日頃から当会の活動にご協力頂き、まことにありがとうございます。

新入会の皆様も、奈良県作業療法士会へようこそ！これから共に学び活動して、成長していきましょう。

今年も総会の季節が巡ってまいりました。

2016年度は、県内の多くの自治体において地域包括ケアの取り組みが具体的に始まった年でした。当会では担当者を中心に、初めての活動を含め、模索しながら取り組んでまいりました。新年度でも、さらなる活動の深化が求められると予想されます。是非ご協力ください。

目を転じてみますと、世界では、戦争によって家をなくし国を追われた多くの難民の方々が困難な生活を強いられ、命を落とす方もおられます。国内でも、子ども食堂の必要性や高齢者の貧困世帯など、様々な問題が報道されており、数えきれない人々が満足できる作業に従事することができない状態にあります。作業療法は、ひとが自分のやりたい作業に取り組み、より健康になることを目的としています。この時代の中で私達は何をすべきなのかを、主体的に考え、行動することが必要とされていると思います。

2017年度は役員選挙の年です。新たな体制での奈良県作業療法士会を皆で盛り立て、会員も含めた多くの人々が、作業をとおして健康になれる活動をしていきましょう。

よろしくお願ひ致します。

役職	氏名	所属
【 理事 】		
会長	大松 慶子	(一社) 奈良県作業療法士会
副会長	東條 秀則	秋津鴻池病院
副会長(事務局長)	西井 正樹	白鳳短期大学
事務副局長	毛利 陽介	白鳳短期大学
学術部長	辰己 一彦	UT ケアシステム
事業部長	大西 和弘	秋津鴻池病院
教育部長	木納 潤一	秋津鴻池病院
保健福祉部長	前岡 伸吾	天理よろづ相談所病院 白川分院
北和ブロック長	土井 一輝	東大寺福祉療育病院
中和ブロック長	北別府 慎介	西大和リハビリテーション病院
南和ブロック長	金星 聡	奈良県総合リハビリテーションセンター
地域包括ケアシステム委員長	安井 敦史	UT ケアシステム
【 監事 】		
	内川 誠	国立病院機構 やまと精神医療センター
	中上 裕隆	介護老人保健施設 やくしの里

第一号議案 平成二十八年度 事業報告

会長

会長 大松慶子

2016年度方針

1. 地域包括ケアシステムにおける自治体での会員の活動を広げる
2. 外部啓発の充実
3. 認定作業療法士を15名に増やす
4. 近畿連絡協議会、奈良県理学療法士協会、奈良県言語聴覚士会と連携していく

2016年度にあげた目標は、一部をのぞき、ほぼ達成された。

地域包括ケアシステムへの対応については、委員会委員を中心に、各自治体からの派遣要請への対応、地域包括ケアOT推進リーダー養成研修の開催など、積極的に活動した。外部啓発については、事業部を中心に、奈良県パーキンソン病友の会の方や難病の方への訪問活動等を引き続き実施した。他団体との情報交換も定期的に行った。認定作業療法士数は目標に到達せず、今後の課題となった。

副会長

副会長 東條秀則

会長との業務分担として以下のような活動を行った。

1. 日本作業療法士協会や近畿の各士会との連絡調整
 - 1) 47都道府県委員会
県士会の代表として出席。協会と士会との連携強化を目的とした委員会。
4月23日 24日 第1回47都道府県委員会 50周年式典、認知症推進委員検討
5月29日 第2回47都道府県委員会 地域OT支援・認知症支援情報共有
9月24日 第3回47都道府県委員会 モデル事業・認知症・地域OT支援
 - 2) 都道府県作業療法士会連絡協議会
県士会の代表として出席。
5月29日 都道府県作業療法士会連絡協議会総会 47委員会と同じ参加者、解散
 - 3) 日本作業療法士協会定時社員総会
OT協会の県の代表としての代議員。
5月29日 日本作業療法士協会社員総会 出席
 - 4) 近畿作業療法士連絡協議会
11月12日 第1回役員交流会 連携事業 事業報告
2月4日 第2回役員交流会 連携事業 事業計画・決算報告
2. 公益活動
 - 1) 奈良県医療推進協議会
適時会議への出席や人選調整の実施

1. 会員情報管理の徹底

奈良県士会会員の情報を管理していくためのシステムを徹底して行った。より正確な情報の共有をめざし、会員管理システムの活用、ブロック事務局との連携を密に行った。入退会において、ブロック事務局との連携を行った。日本作業療法士協会の会員管理システムと連動して行った。

2. 理事会運営

理事会議事録については、ホームページにて会員が閲覧できるようなシステムの構築を行っていく。

3. 情報の伝達

全施設 FAX 等のペーパーレス化をめざしたが、SNS の活用までには至らなかった。

福利厚生担当

福利厚生係 西井正樹

1. 会員間の親睦を深めることを目的として、以下の年間行事を企画した。

1) 学会終了後の打ち上げ

・当日の学会終了後の打ち上げの会計並びに司会を担当し、啓発委員会と協力して行った。

2) PT・OT・ST 合同ボーリング大会

2. 子育て支援

1) 出産に伴う会費補助

会員の出産に伴う次年度の会費免除を行った。

3. 地域で働く作業療法士の支援

1) 奈良県作業療法士会から各会員へ委託した事業についての作業療法士総合保険への補助を行った。

広報担当

広報係 大峠ちはる

1. 広報誌（まほろば）の発行

1) 広報誌の発送を年4回行った（県士会員、全国都道府県）。

・HPにも広報誌を掲載した。

・求人広告掲載を広く募り、県内各施設の作業療法士の充足を図った。

・Activity や書籍紹介等、新規に企画し会員に情報を提供した。

2. 奈良県作業療法士会ホームページ

・ホームページのバージョンアップを図った。

・1ヶ月内に約2回の割合で情報更新を行った。

3. 外部啓発向けの別冊の作成

・外部啓発向けの別冊の発行までには至らなかった。

財務担当

副事務局長 毛利陽介

1. ブロック事務局 財務と連携し会費納入に対し迅速に対応する。

1) ゆうちょ銀行振替口座を利用し全ての納入した会員への対応が来ている。

2) ブロック事務局と連携して会費納入後の対応がスムーズに行えている。

2. ブロック事務局 財務と連携し会費納入率の向上を図る。

1) 12月には督促状を送付し、1月にはブロック財務と連携し未納者へ直接連絡したが、未納者は1割程

度存在し、其の内半数は退職し連絡が取れない若しくは、退会希望者となっている。

3. 各部局と連携し、予算・支出を管理する。
 - 1) 支出の多い部局では各口座での管理を行っている。
 - 2) すべての部局は4半期ごとに決算を行い経費の管理を行っている。
4. 税理士と連携し、法令に準じた決算書を作成し納税を行う。
 - 1) 平松税理士事務所と顧問契約を結んでおり、法令に準じて決算書を作成した。
 - 2) 各部局の協力を得て、所得税など法令に準じ適切に納税を行っている。
5. 財務会議を開催する。
 - 1) 財務会議を行った。
6. 会員管理システムを管理する。
 - 1) 年会費の入力などシステムを運用しているが、協会のデータと県士会のデータでは所属や会員番号など一部整合性に欠ける部分が見られる。
7. マイナンバー制度に対して適切に運用する。
 - 1) マイナンバー規定を作成し適切に運用を開始している。

学術部

辰己一彦

1. 奈良県作業療法学会査読体制の見直しを行った
 - 1) 査読実務のマネジメントを行う部員の養成
 - 2) 部局員への査読体制の周知を図った
 - 3) 分野別査読委員の選定
2. SIGの管理
3. 研究発表に関する勉強会を開催した
 - 1) 一般演題、事例報告の要項説明
 - 2) 研究に関する基礎知識と文献検索
 - 3) 研究計画法の講習会

対象：1年目から5年目までのOTを対象

学術部員：身体障害、精神障害、発達障害、老年・地域の代表者を立てて実施した

- | | | |
|--------|--------|--------------------------|
| 第1回勉強会 | 8月25日 | 演題募集要項、ポスター発表について |
| 第2回勉強会 | 9月26日 | 研究課題検討、研究プロセス、文献レビューについて |
| 第3回勉強会 | 10月24日 | データ収集、研究デザイン、研究の倫理について |
| 第4回勉強会 | 11月24日 | 統計分析について |
| 第5回勉強会 | 12月20日 | 抄録作成について |
| 第6回勉強会 | 1月26日 | 抄録内容確認 |
| 第7回勉強会 | 3月7日 | 学術部内発表 |

教育部

木納潤一

1. 生涯教育基礎研修
 - 1) 現職者共通研修

以下、現職者共通研修10テーマ中、10テーマを実施した。

- 平成28年6月05日 : 事例報告(参加者6名)
- 平成28年6月14日 : 作業療法生涯教育概論(参加者18名)
講師:木納潤一先生(秋津鴻池病院)
- 平成28年7月26日 : 事例報告と事例研究(参加者26名)
講師:大西和弘先生(秋津鴻池病院)
- 平成28年8月23日:保健・医療・福祉と地域支援(参加者18名)
講師:西井正樹先生(関西福祉科学大学)
- 平成28年9月28日 : 職業倫理(参加者23名)
講師:南庄一郎先生(やまと精神医療センター)
- 平成28年10月25日 : 日本と世界の作業療法の動向(参加者28名)
講師:木納潤一先生(秋津鴻池病院)
- 平成28年11月24日:作業療法における協業・後輩育成(参加者20名)
講師:坪内善仁先生(秋津鴻池病院)
- 平成28年12月07日 : 作業療法の可能性(参加者25名)
講師:前岡伸吾先生(天理よろづ相談所病院)
- 平成29年1月25日:実践のための作業療法研究(参加者16名)
講師:東條秀則先生(秋津鴻池病院)
- 平成29年2月22日:事例検討(参加者12名)・事例報告(参加者3名)
講師:坪内善仁先生(秋津鴻池病院)

2) 現職者選択研修(身体障害領域)

- 平成28年12月18日:現職者選択研修—身体障害領域(参加者50名)
講座:身体障害領域の基礎知識 講師:東條秀則 先生 (秋津鴻池病院)
講座:神経・筋・内部障害 講師:大西和弘 先生 (秋津鴻池病院)
講座:筋骨格系・外傷 講師:毛利陽介 先生 (白鳳短期大学)
講座:脳血管障害 講師:北別府慎介先生 (西大和リハビリテーション病院)

2. その他

- 県士会員の生涯教育手帳管理
- 事例報告研修制度の管理運営、及び事例登録推進

事業部

大西和弘

1. 研修事業

1) 事業部セミナー

1. 「作業に焦点を当てた目標設定と実践」

講師:齋藤佑樹先生 こおりやま東都学園 郡山健康科学専門学校

日時:平成28年5月14日(日)

場所：秋津鴻池病院 研修棟

参加者：38名

2. 「クライアントの作業ニーズを捉える方法と作業ニーズの記載方法」

講師：酒井ひとみ先生 関西福祉科学大学

横井賀津志先生 森之宮医療大学

日時：平成28年7月3日（日）

場所：秋津鴻池病院

参加者：44名

3. 「肩関節機能障害へのアプローチ ～触診と動かし方の実技を中心に～」

講師：大西和弘先生 秋津鴻池病院 認定作業療法士

坪内善仁先生 秋津鴻池病院 認定作業療法士

石橋加奈子先生 秋津鴻池病院 認定作業療法士

日時：平成29年3月5日（日）

場所：秋津鴻池病院

参加者：未定

2) スキルアップセミナー（全て県士会員は無料）

・「老年期の作業療法」

講師：東條秀則先生 秋津鴻池病院

日時：平成27年5月10日

場所：秋津鴻池病院

参加者：36名

・「高次脳機能障害の基礎知識と治療介入Ⅰ」

講師：前岡伸吾先生 天理よろづ相談所病院白川分院

日時：平成28年6月9日

場所：奈良県総合リハビリテーションセンター

参加者：36名

・「高次脳機能障害の基礎知識と治療介入Ⅱ」

講師：前岡伸吾先生 天理よろづ相談所病院白川分院

日時：平成28年6月23日

場所：奈良県総合リハビリテーションセンター

参加者：36名

・「脳卒中後の上肢麻痺に対する作業療法」

講師：北別府慎介先生 西大和リハビリテーション病院

日時：平成28年6月30日

場所：西大和リハビリテーション病院

参加者：49名

・「作業療法の場で活かせる物理療法～神経筋電気刺激を中心に～」

講師：北別府慎介先生 西大和リハビリテーション病院

日時：平成28年7月7日

場所：西大和リハビリテーション病院

参加者：35名

- ・「急性期・回復期の精神科作業療法～事例検討を中心に～」

講師：南庄一郎先生 国立病院機構 やまと精神医療センター 認定作業療法士

日時：平成28年7月21日

場所：秋津鴻池病院

参加者：24名

- ・「意味のある作業を考えよう」

講師：大松慶子先生 関西学研医療福祉学院 会長 認定作業療法士

日時：平成28年8月18日

場所：奈良県総合リハビリテーションセンター

参加者：35名

- ・「地域で求められる作業療法士のあり方」

講師：辰巳一彦先生 UT訪問看護ステーション

日時：平成28年10月6日

場所：奈良県総合リハビリテーションセンター

参加者：18名

- ・「手指機能障害への作業療法Ⅰ」

講師：毛利陽介先生 田北病院

日時：平成28年11月7日

場所：奈良県総合リハビリテーションセンター

参加者：36名

- ・「手指機能障害への作業療法Ⅱ」

講師：毛利陽介先生 田北病院

日時：平成28年11月15日

場所：奈良県総合リハビリテーションセンター田北病院

参加者：31名

- ・「認知症における作業療法実践」

講師：坪内善仁先生 秋津鴻池病院

日時：平成28年12月1日

場所：秋津鴻池病院

参加者：24名

- ・「肩関節機能障害へのアプローチⅠ」

講師：石橋加奈子先生 秋津鴻池病院 認定作業療法士

日時：平成28年12月15日

場所：秋津鴻池病院

参加者：37名

- ・「肩関節機能障害へのアプローチⅡ」

講師：大西和弘先生 秋津鴻池病院 認定作業療法士

日時：平成28年12月22日

場所：秋津鴻池病院

参加者：28名

2. 啓発事業

1) 内部啓発

- ・啓発委員会会議

平成28年6月2日、7月6日、8月4日、9月15日、10月19日、12月6日

2) 外部啓発

- ・家族会

奈良県パーキンソン病友の会奈良支部、家族会への在宅療養訪問相談

平成28年11月9日（水）奈良市

- ・難病支援関連

研修会

平成28年1月9日（土）10日（日）難病コミュニケーション支援講座参加

近畿ALS協会総会

平成28年7月3日（日） 総会参加 グランキューブ大阪

神経難病患者様在宅訪問

平成28年4月4日（月）斑鳩市在宅訪問 郡山保健所保健師同行訪問

平成28年4月15日（金）高田市在宅訪問 中和保健所保健師同行訪問

平成28年6月2日（木）大淀町在宅訪問 吉野保健所保健師同行訪問

平成28年7月29日（金）大淀町在宅訪問

平成28年8月6日（土）大淀町在宅訪問

平成28年8月10日（水）レスパイト入院中訪問 吉野保健所保健師同行訪問

平成28年8月25日（木）香芝市ALS患者様在宅訪問 中和保健所保健師同行訪問

平成28年9月12日（月）香芝市ALS患者様在宅訪問

平成28年9月21日（水）香芝市ALS患者様在宅訪問

平成28年10月27日（木）奈良市在宅訪問 奈良市保健所保健師同行訪問

平成28年11月29日（火）桜井市在宅訪問 中和保健所保健師同行訪問

平成28年12月4日（日）桜井市在宅訪問 中和保健所保健師同行訪問

平成29年1月28日（土）桜井市在宅訪問

奈良県難病支援センター 重症難病コミュニケーション支援協力者連絡会

平成28年6月16日（木）

奈良県難病支援センター 在宅療養難病患者コミュニケーション支援協力者

大西和弘、星合直子、倉賀野藍子、坪内善仁

奈良市保健所 在宅療養難病患者コミュニケーション支援協力者

大西和弘、星合直子

- ・介護の日

平成28年11月5日（土） リハビリ相談ブース参加 なら100年会館 9時～17時

- ・バリアフリー展

平成28年4月21日22日23日 バリアフリー展 相談コーナー参加

平成28年9月25日（日） バリアフリー展会議出席 大阪府作業療法士会事務所

- ・その他

奈良県作業療法士会ホームページ内、事業部ブログ配信

平成 28 年度 奈良県高次脳機能障害支援体制委員会 平成 28 年 8 月 30 日（水）

3. 委員会活動他

- ・特別教育支援委員会 平成 29 年 2 月 17 日（金）研修会実施
「K 式発達検査の解釈とその検査結果を作業療法に役立てる視点」
講師：古木仁子先生（発達支援教室ゆめ畑） 前田由美子氏（奈良市健康増進課心理相談員）
- ・奈良県発達障害就労支援連絡協議会委員 宮崎瑠璃子
- ・生涯教育制度推進担当者会議
平成 28 年 10 月 15 日（土）16 日（日） 東京
- ・訪問リハ
訪問リハビリテーション実務者研修会 3 士会合同
平成 28 年 11 月 19 日（土）20 日（日） 於：畿央大学、白鳳短期大学
- ・奈良脳外傷友の会あすか 北野真奈美
- ・奈良高次脳機能障害リハビリテーション講習会実行委員 北野真奈美

保健福祉部

前岡伸吾

1. 日本作業療法士協会保健福祉部との情報の共有と会員への周知
1) 診療報酬・介護報酬改定に向けての情報収集を行った。
2. 診療報酬に関する研修会の実施
1) 平成 28 年度介護報酬改定についての研修会を実施した。
3. 奈良県保険医協会との連携
1) 奈良県保険医協会と交流を深める中で情報収集や意見交換、研修会などへの参加を行った。
4. 保健福祉部会議の実施
1) 年 1 回（6 月）部局会議を実施した。

北和ブロック

ブロック長 土井一輝

1. 北和ブロック会員の入退会・異動、会費納入の管理を行った
2. 第 9 回奈良県作業療法学会を開催した
テーマ：生活に活かし、生きる ～未来につなげる作業療法～
特別講師：山口美和先生
日程：平成 28 年 6 月 5 日
参加者：129 名
3. 第 9 回奈良県作業療法学会実行委員会を行った
第 1 回 日程：平成 28 年 4 月 1 日 内容：印刷物の確認 参加者：4 名
第 2 回 日程：平成 28 年 5 月 6 日 内容：抄録発送作業 参加者：5 名
第 3 回 日程：平成 28 年 5 月 26 日 内容：学会当日スタッフの仕事確認 参加者：17 名
第 4 回 日程：平成 28 年 6 月 4 日 内容：前日準備 参加者：11 名

第5回 日程：平成28年6月9日 内容：学会反省会 参加者：9名

4. 北和ブロック会議を開催した
議 題：平成29年度北和ブロック研修会について
日 程：平成29年2月13日
参加者：2名
内容：MTDLPの紹介、次年度研修会の検討
5. 災害時安否確認の北和ブロック連絡網を作成・試行した。

中和ブロック

ブロック長 北別府慎介

1. 中和ブロック会員の入退会・異動、会費納入の管理を行った
2. 中和ブロック会議を開催した
議 題：中和ブロック研修会について、第37回近畿作業療法学会について
日 程：平成28年11月22日
参加者：25名
3. 災害時安否確認の中和ブロック連絡網を作成した
4. 中和ブロック研修会を開催した
テーマ：「目標設定について考える」
講師：尾川達也（西大和リハビリテーション病院 理学療法士）
日 程：平成29年2月23日
参加者： 名

南和ブロック

ブロック長 金星聡

1. 南和ブロック会員の入退会・異動、会費納入の管理を行った
2. 南和ブロック会議を開催した
議 題：南和ブロック研修会について、災害時安否確認について
日 程：平成28年7月13日
参加者：20名
3. 生活行為向上マネジメント（MTDLP）の啓発を行った
上記会議の際に、MTDLP推進委員による概要説明、今後の展望、基礎研修終了後の流れ、などの啓発活動を行った
4. 災害時安否確認の南和ブロック連絡網を作成した
5. 南和ブロック研修会を開催した
テーマ：私たちの地域の作業療法を知ろう！
日 程：平成28年12月4日
参加者：28名

各種委員会

(常設委員会)

倫理委員会

委員長 東條秀則

奈良県作業療法士会 倫理問題担当窓口

本年度は特に事案はなかった

規約検討委員会

委員長 木納潤一

1. 正会員規程の一部を修正した。
2. 広報規程を作成した。
3. 研修会受講規程を作成した。
4. 総合賠償責任保険補助規程を作成した。

5ヶ年計画委員会

委員長 大松慶子

今年度は第1期計画最終年度であり、計画の進捗状況確認と来期に向けた新委員の募集と確認、第2期計画具体化のために2回の会議を開催した。第1期計画はほぼ完遂しており、2期目への順調な引継ぎが可能な状態となっている。

生活行為向上マネジメント委員会

委員長 西井正樹

1. 研修会の開催
 - 1) 近畿連絡協議会との共催
 - ・基礎研修(1回)および事例検討会(1回)を行った。
 - 2) 奈良県作業療法士会での研修会の開催
 - ・基礎研修(2回)および事例検討会(6回)を行った。
2. 日本作業療法士協会主催 会議の参加
 - 1) 推進会議
 - ・年1回の推進会議に参加した(2名参加)。
 - 2) 指導者会議
 - ・年1回の指導者会議に参加した(1名参加)。

認知症支援委員会

委員長 東條秀則

- 1) 認知症作業療法推進委員会議 東京
11月19日20日 2名の委員出席、県士会代表者坪内委員
2月19日 認知症アップデート研修
併せて全会員へのアンケートを実施
- 2) 吉野町認知症予防サロン 4名の委員で月に1回程度の支援を行った
- 3) 大淀町介護予防プロジェクト 5月から2名の委員で会議に出席
10月29日 一般町民への認知症啓発イベントの開催支援
3月1日 認知症講座 講師
- 4) 香芝市認知症地域支援推進人材チーム作り研修

全4回出席

- 5) 近畿作業療法士連絡協議会認知症支援事業
3月18日研修会開催

災害支援対策委員会

委員長 東條秀則

- 1) 熊本地震支援
奈良 JRAT として6月2日～5日現地へ支援に出向
義援金を県土会予算より送金、奈良学会にて募金実施
11月11日大阪での研修会にて奈良 JRAT の活動報告
- 2) 震災時土会内会員安否確認
7月29日に実施 全施設の76%が登録、内85%から返信あり
- 3) 近畿作業療法士連絡協議会 災害支援対策事業
近畿の熊本地震の支援を冊子に
- 4) 奈良 JRAT
年に1回程度会議開催
3月19日 近畿ブロック会議 出席

地域包括ケアシステム委員会

委員長 安井敦史

1. 委員間での連絡体制の強化と情報共有
 - 1) 毎月委員会会議を開催し、委員間での地域包括ケアに関する知識の共有を行った
2. 行政との相談体制の構築を図る
 - 1) 県内医療保健圏域別の担当者を置いた
3. PT/ST土会と協力して人材育成の体制をつくる
 - 1) 「地域づくりによる介護予防（奈良県モデル事業）」に関する研修会を開催
平成28年10月14日（金）78名参加
4. 会員向け研修会・多職種合同での研修会の企画・開催
 - 1) 県の「地域医療介護総合確保基金」事業を活用し「地域包括ケアOT推進リーダー養成研修」を実施
 - ・出前講座：平成28年12月2日（金）31名参加
 - ・認定研修Ⅰ：平成29年1月15日（日）37名参加
 - ・認定研修Ⅱ：平成29年3月4日（土）43名参加
 - ・行政向け研修会：平成29年3月3日（金）44名参加
5. 市町村での「新しい総合事業」への参画
 - 1) 複数の市町村事業への協力と人材の派遣と推薦を実施
 - ・奈良県：「地域づくりによる介護予防」研修会出席
 - ・奈良市：「西ブロック顔の見える連携」準備会議、研修会出席
 - ・生駒市：「ケアマネジメント適正化推進事業」委員会出席
 - ・大和郡山市：「介護予防セミナー」講師派遣
 - ・広陵町：総合事業における「住民主体の集いの場」人材推薦
総合事業における「判定会議」人材推薦

- ・河合町：総合事業における「通所型C事業」人材推薦
総合事業における「地域ケア会議」人材推薦
- ・三郷町：「健康サポーター養成講座」講師派遣
- ・王寺町：総合事業における委員派遣
- ・橿原市：「介護予防セミナー」講師派遣
「シニア塾」講師派遣
- ・御杖村：「訪問型事業」人材推薦

表彰委員会

委員長 西井正樹

1. 優秀学生賞の選出
2. 学会優秀演題賞の選出

(特設委員会)

選挙管理委員会

委員長 谷川朋子

1. 委員長の引継ぎを行った

第37回近畿作業療法学会実行委員会

委員長 東條秀則

平成29年10月1日開催へ向け企画・検討を開始。
11月13日 和歌山県士会より申し送りを受けた。

日本作業療法士協会 50周年記念事業委員会

委員長 西井正樹

「毎日OTカレンダー」作成を行った。

【自治体および各種団体より依頼された委員】

【奈良県】

- ・奈良県発達障害就労支援連絡協議会委員
(宮崎瑠璃子)

【奈良市】

- ・奈良市介護給付等の支給に関する審査会委員
(大西美雪、早川智美、佐藤いづみ、宮崎瑠璃子、北野真奈美、前岡伸吾)
- ・介護認定審査会委員
(西井正樹、島本良重)

【奈良県難病支援センター】

- ・在宅療養難病患者コミュニケーション支援協力者
(大西和弘、星合直子、倉賀野藍子、坪内善仁)

【奈良市保健所】

- ・在宅療養難病患者コミュニケーション支援協力者
(大西和弘、星合直子)

【王寺町】

- ・認知症初期集中支援チーム検討委員（安井敦史）

【大和郡山市】

- ・地域ケア会議ワーキングチーム（毛利陽介、安井敦史）

【生駒市】

- ・ケアマネジメント適正化推進事業委員（安井敦史）

【他団体】

- ・奈良脳外傷友の会あすか（北野真奈美）
- ・奈良高次脳機能障害リハビリテーション講習会実行委員（北野真奈美）

【平成 28 年度（一社）奈良県作業療法士会 優秀学生賞】

- ・関西学研医療福祉学院 作業療法学科 3 年 服部明優美（天理よろづ相談所病院）

【平成 28 年度 第 9 回 奈良県作業療法学会 優秀演題賞】

- ・秋津鴻池病院 市井涼佳

【地域包括ケアOT推進リーダー認定者】

沼田 一成	奈良東病院
鍛冶 秀生	株式会社アイデル アイデルリハビリ訪問看護ステーション
前岡 伸吾	天理よろづ相談所病院 白川分院
安井 敦史	UTケアシステム
宮野 純子	近鉄スマイルあやめ池トレ&リハ
吉川 景一郎	株式会社アイデル アイデルリハビリ訪問看護ステーション
竹田 彩	通所リハビリテーションだいち
毛利 陽介	白鳳短期大学
上野 哲	UTケアシステム
山本 将	訪問看護ステーションポシブル飛鳥
石橋 新二	ハートランドしぎさん
谷村 賢司	訪問看護ステーションうねび
福井 恵	奈良県西和医療センター
片岡 歩	かつらぎクリニック
大峠 ちはる	天理よろづ相談所病院 白川分院
水谷 信也	高井病院
辰己 一彦	UTケアシステム
中田 慎吾	ユーター訪問看護ステーション
谷村 卓俊	訪問看護ステーションルーク
南 庄一郎	国立病院機構やまと精神医療センター
杉山 有希	みらい精華 訪問看護ステーション
森 友哉	ハートランドしぎさん
大塚 隆史	介護老人保健施設こころ上牧
西浦 正典	奈良東病院
松本 未来子	訪問看護ステーションポシブル飛鳥
永野 元	おかたに病院
山口 史哲	平成まほろば病院
和田 航平	介護老人保健施設 鴻池荘
宮城 慎二	リハビリティサービスステップ
永井 邦明	平成まほろば病院
秋山 佳世	奈良東病院
杵島 康太	かつらぎクリニック
田島 佑亮	介護老人保健施設 鴻池荘
中谷 考輝	高井病院
姫野 百合香	天理よろづ相談所病院 白川分院
村上 賢治	平成まほろば病院
松村 安希子	天理よろづ相談所病院 白川分院

第三号議案 平成二十九年度 事業計画

会長

大松慶子

2017 年度方針

1. 第 37 回近畿作業療法学会を成功させる
2. 認知症を含めた地域包括ケアシステムに関する活動と体制の充実をはかる
3. 外部啓発活動を強化する
4. 会員の学術活動を強化する

2017 年度は第 37 回近畿作業療法学会の開催年度であり、会員が協力して成功させることがまず重要である。地域包括ケアシステム関連では、自治体からのさらなる協力要請が予想され、推進リーダー養成を行いながら対応していくことが求められる。その中でも、作業療法士の役割を自治体・地域の方々に知っていただくための啓発活動が重要となろう。質的強化としては、学術部活動などを通して学会発表等の強化をはかっていく

副会長

東條秀則

会長との業務分担として以下のような活動を行う。

1. 日本作業療法士協会や近畿の各士会との連絡調整
 - 1) 47 都道府県委員会
県士会の代表者人選調整。
 - 2) 日本作業療法士協会定時社員総会
OT 協会の県の代表としての代議員。
 - 3) 近畿作業療法士連絡協議会
代表者人選調整。
役員交流会へ出席調整。
2. 公益活動
 - 1) 奈良県医療推進協議会
窓口人選調整

事務局

局長 西井正樹

1. 会員情報管理の徹底
2. 理事会運営
理事会専用のサイボウズなどのシステムを構築する。
3. 情報の伝達
全施設 FAX 等のペーパーレス化をめざすために、SNS を活用していく。

福利厚生担当

福利厚生係 西井正樹

1. 会員の慶弔
2. 新入会員の歓迎会
3. 子育て支援
 - 1) 出産に伴う会費補助
4. 作業療法士総合保険への補助

広報担当

広報担当係 大峠ちはる

1. 広報誌（まほろば）の発行
2. 奈良県作業療法士会ホームページの仕様の変更

財務担当

副事務局長 毛利陽介

1. ブロック事務局 財務と連携し会費納入に対し迅速に対応する。
2. ブロック事務局 財務と連携し会費納入率の向上を図る。
3. 各部局と連携し、予算・支出を管理する。
4. 税理士と連携し、法令に準じた決算書を作成し納税を行う。
5. 財務会議を開催する。
6. 県士会データと会員管理システムにおけるデータの統一化を図る。

学術部

辰己一彦

1. 奈良県作業療法士会学術部の査読体制の見直し
 - 1) 査読実務のマネジメントを行う部員の養成
 - 2) 部局員への査読体制の周知を図る
 - 3) 分野別査読委員の選定
2. 近畿作業療法学会査読
 - 1) 演題査読の手引き作成
 - 2) 分野別査読委員の選定
 - 3) 演題申し込み、査読要項の整理
3. SIG の管理
4. 研究助成費採択、拠出
5. 研究発表に関する勉強会開催
 - 1) 一般演題、事例報告、事例登録の要項説明
 - 2) 研究に関する基礎知識と文献検索
 - 3) 研究計画法の講習会

対象：1年目の若手OT からベテランOT を対象とする

目的：会員の作業療法実践の質的向上を図り、根拠資料を作成し成果を内外に示す

日本作業療法士学会、近畿作業療法士学会、奈良県作業療法士学会への演題登録

生涯教育制度の「認定作業療法士」申請の要件である事例登録を行う

学術部員：身体障害、精神障害、発達障害、老年・地域の代表者を立てる

勉強会全6回実施予定

教育部

木納潤一

1. 生涯教育基礎研修
 - 1) 現職者共通研修を以下の要領で実施予定。
 - 作業療法生涯教育概論 H29.6月予定
 - 事例報告と事例研究 H29.7月予定
 - 保健・医療・福祉と地域支援 H29.8月予定

- ・職業倫理 H29.9 月予定
- ・実践のための作業療法研究 H29.10 月予定
- ・作業療法の可能性 H29.11 月予定
- ・作業療法における協業・後輩育成 H29.12 月予定
- ・日本と世界の作業療法の動向 H30.1 月予定
- ・事例検討、事例報告 H30.2 月予定

2) 現職者選択研修について、平成 29 年度は精神障害領域を実施予定。

※8月、9月頃、開催予定

2. 生涯教育手帳管理
3. 事例報告登録研修制度の実施と事例登録の推進
4. 生涯教育基礎研修修了者への修了申請手続きの促進
5. 生活行為向上マネジメントに関連する研修会の支援

事業部

大西和弘

1. 研修事業

1) 事業部セミナー

平成 29 年 事業部セミナー

1. 「認知機能と運転適性～作業療法の視点から～（仮題）」
 講師：藤田佳男先生（千葉県立保健医療大学健康科学部リハビリテーション学科）
 日時：平成 29 年 4 月 16 日（日）
 場所：検討中
2. 「作業で結ぶマネジメント（仮題）」
 講師：澤田辰徳先生（東京工科大学医療保健学部）
 日時：未定
 場所：未定
3. 「検討中」
 講師：未定
 日時：未定
 場所：未定

※詳細は今後確定次第アナウンス予定

平成 29 年 日本作業療法士協会 福祉用具対策委員会共催

1. 「IT 機器レンタル事業 作業療法士が行う IT 活用支援説明会」
 講師：OT 協会制度対策福祉用具対策委員会委員 10 名
 日時：平成 29 年 5 月 20 日（土）21 日（日）
 場所：やまと会議室（奈良市登大路町 36 近鉄奈良駅周辺）
 ※詳細は OT 協会会誌、ホームページにてアナウンス予定

2) スキルアップセミナー（全て県士会員は無料）

- ・「意味のある作業を考えよう」
- ・「高次脳機能障害の基礎知識と治療介入Ⅰ」
- ・「高次脳機能障害の基礎知識と治療介入Ⅱ」
- ・「手指機能障害への作業療法Ⅰ」
- ・「手指機能障害への作業療法Ⅱ」
- ・「老年期の作業療法」
- ・「脳卒中関連Ⅰ」
- ・「脳卒中関連Ⅱ」
- ・「認知症における作業療法実践」
- ・「精神科作業療法関連」
- ・「地域関連」
- ・「機能障害関連」

※詳細は追ってホームページ及びメーリングリスト等でアナウンス予定

2. 啓発事業

1) 内部啓発

- ・平成29年6月11日(日)「作業療法の日」開催

2) 外部啓発

・家族会

奈良県パーキンソン病友の会奈良支部、家族会への支援

・難病支援関連

研修会への参加

奈良県難病支援センター及び県内保健所における難病患者への支援

家族会支援

・介護の日

リハビリ相談ブースへの参加(PTST 土会合同)

・バリアフリー展

平成29年4月20日21日22日 参加

・その他

奈良県高次脳機能障害支援体制検討委員会

3. 活動支援他

1) 委員会及び専門部会

- ・特別教育支援委員会
- ・訪問リハ関連
- ・生涯教育制度推進担当者会議出席

保健福祉部

前岡伸吾

1. 日本作業療法士協会保健福祉部との情報の共有と会員への周知

- 1) 定期的に配信される診療改訂に向けた情報を必要に応じてHPに掲載する
 - 2) 平成30年の診療報酬・介護報酬同時改定に向けての情報収集を行う
2. 奈良県保険医協会との連携
- 1) 奈良県保険医協会と交流を深める中で情報収集や意見交換、研修会などへの参加を行っていく
3. 保健福祉部会議の実施
- 1) 年1回(平成30年2月)部局会議を実施する

北和ブロック

ブロック長 土井一輝

1. 北和ブロック会議の実施
主に第37回近畿作業療法学会の運営と北和ブロック研修会の企画・準備を内容とした会議を実施する
2. 北和ブロック研修会の開催
3. 北和ブロック事務局機能の徹底
 - 1) 北和ブロックメーリングリストを活用し、事務連絡等を迅速に行う
 - 2) 北和ブロック会員の入退会・異動、年会費納入の正確な管理を事務局と財務部の連携により行う
 - 3) 災害時緊急連絡のブロック内システムを再構築・試行する。
4. 第37回近畿作業療法学会の開催
平成29年10月1日開催の上記学会(担当:奈良県)において、北和ブロックとしての役割を担う

中和ブロック

ブロック長 北別府慎介

1. 中和ブロック会議の実施
主に第37回近畿作業療法学会の運営と中和ブロック研修会の企画・準備を内容とした会議を実施する
2. 中和ブロック研修会の開催
3. 中和ブロック事務局機能の徹底
 - 1) 中和ブロックメーリングリストによる事務連絡等を迅速に行う
 - 2) 中和ブロック会員の入退会・異動、年会費納入の正確な管理を事務局と財務部の連携により行う
4. 第37回近畿作業療法学会の開催
平成29年10月1日開催の上記学会(担当:奈良県)において、中和ブロックとしての役割を担う

南和ブロック

ブロック長 金星聡

1. 南和ブロック会議の実施
主に南和ブロック研修会の企画・準備を内容とした会議を実施する
2. 南和ブロック研修会の開催
3. 南和ブロック事務局機能の徹底
 - 1) 南和ブロックメーリングリストによる事務連絡等を迅速に行う
 - 2) 南和ブロック会員の入退会・異動、年会費納入の正確な管理を事務局と財務部の連携により行う
4. 第37回近畿作業療法学会の開催
平成29年10月1日開催の上記学会(担当:奈良県)において、南和ブロックとしての役割を担う

各種委員会(常設委員会)

倫理委員会

委員長 東條秀則

1. 奈良県作業療法士会 倫理問題担当窓口
2. 代表者人選調整

規約検討委員会

委員長 木納潤一

1. 規程・細則の見直し、修正や変更を行う。
2. 規程・細則の作成を行う。
3. 会員が規程・細則を閲覧できる環境を整備する。

5ヶ年計画委員会

委員長 大松慶子

下記の4つの課題について、グループ毎に討論と対策を進め、年2回の頻度で確認していく。

1. 研修関連（SIG、現職者基礎研修後のフォロー、中堅対象研修会の開催など）
2. 会員確保（特に女性会員について）
3. 学術（学会誌発行、研究助成など）
4. 組織図

生活行為向上マネジメント委員会

委員長 西井正樹

1. 基礎研修会の実施（8月・12月）
2. 実践者研修会の実施（各奇数月の夜間に開催）
3. 基礎研修会のアドバンスコースの実施（近畿連絡協議会との共催）
4. 推進会議の参加
5. 指導者の育成

認知症支援委員会

委員長 東條秀則

- 1) 認知症作業療法推進委員会議 東京
委員出席、県士会代表者坪内委員
認知症アップデート研修 開催
- 2) 吉野町認知症予防サロン 要望を踏まえ支援
- 3) 大淀町介護予防プロジェクト 要望を踏まえ会議に出席
要望を踏まえ一般町民・当事者と家族への認知症啓発イベントの開催支援
- 4) 香芝市認知症地域支援推進人材チーム作り研修
意向の要望を踏まえ支援
- 5) 近畿作業療法士連絡協議会認知症支援事業
研修会開催
- 6) 事業ごとの担当者人選調整

災害支援対策委員会

委員長 東條秀則

- 1) 近畿作業療法士連絡協議会 災害支援対策事業
適時取り組む
- 2) 奈良 JRAT

年に1回程度会議開催

地域包括ケアシステム委員会

委員長 安井敦史

1. 人材教育体制の強化
 - 1) 奈良県士会独自の認定者育成研修の実施
 - 2) OJT 研修の実施
 - 3) 日本作業療法士協会モデル事業の実施
2. 行政との協働
 - 1) 士会での行政対応窓口の強化
 - 2) 総合事業への参画
 - 3) 地域ケア会議への積極的な参画
 - 4) 県庁、市町村との連携強化
3. 多職種との協働
 - 1) 多職種間での研修会実施

表彰委員会

委員長 西井正樹

1. 優秀学生賞の選出

特設委員会

選挙管理委員会

委員長 堀川未来

1. 選挙に応じて、対応する。

第37回近畿作業療法学会準備委員会

学会長 東條秀則

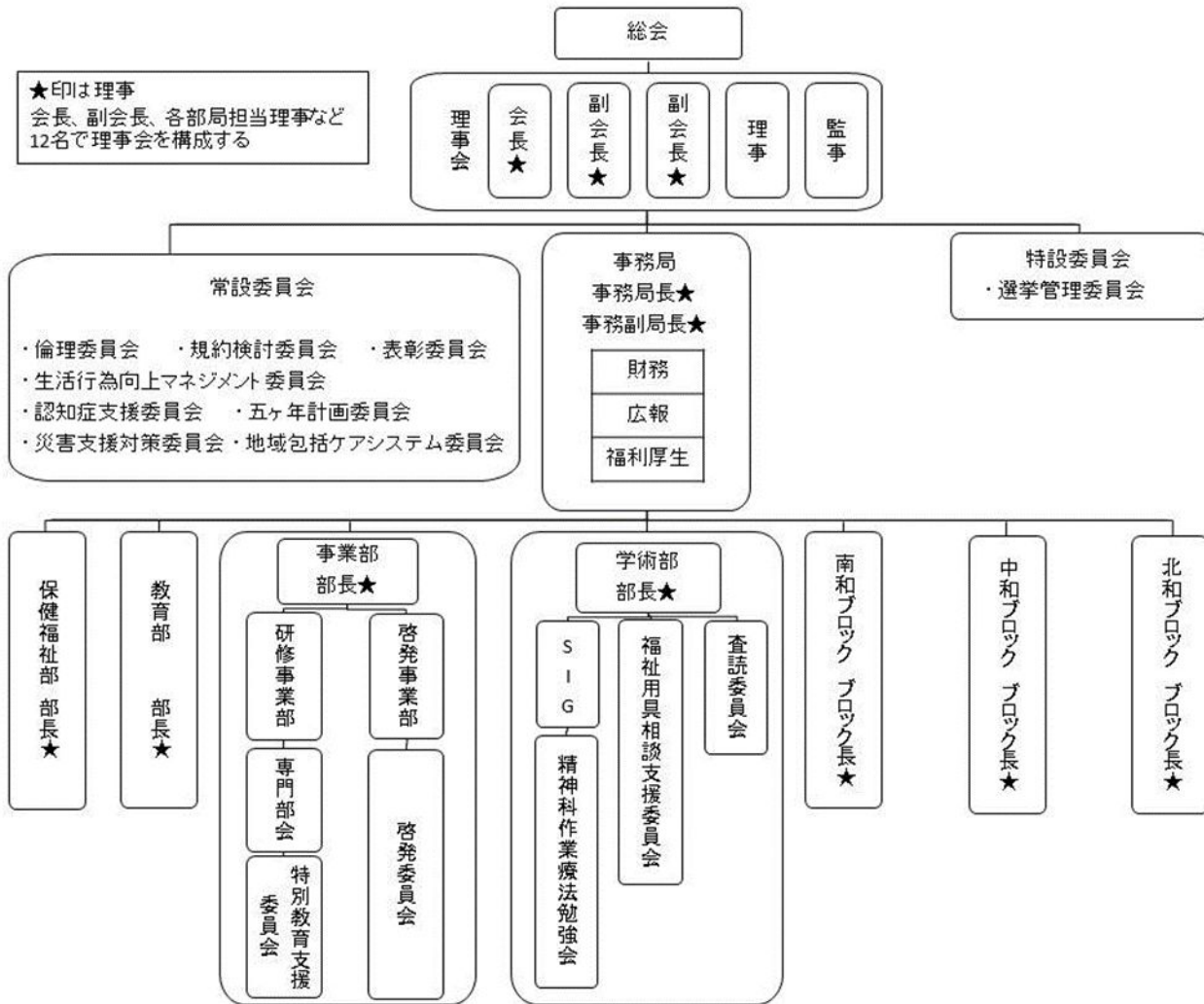
平成29年10月1日開催へ向け実行委員会・拡大実行委員会の実施

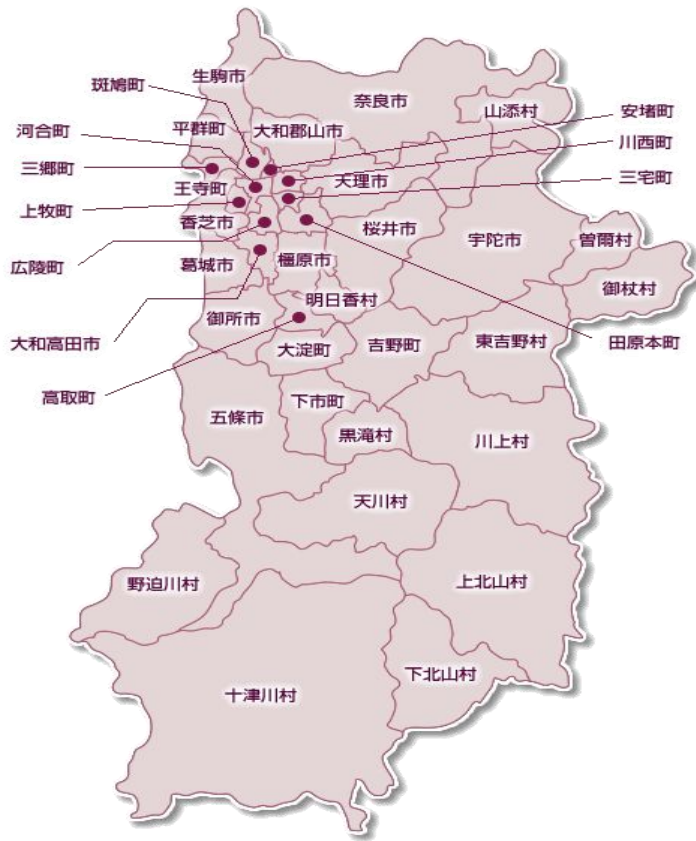
日本作業療法士協会 50周年記念事業委員会

委員長 西井正樹

引き続き「毎日OTカレンダー」を作成していく。

一般社団法人 奈良県作業療法士会 組織図





北和ブロック

奈良市 生駒市

中和ブロック

天理市 大和郡山市 生駒郡 北葛城郡 香芝市

南和ブロック

桜井市 五條市 宇陀市 大和高田市 橿原市 葛城市 御所市 高市郡
磯城郡 吉野郡